

2026 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部/工芸科学部 : /School of Science and Technology/School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有/有 : /Available/Available
学域等/Field	/全学共通科目/全学共通科目 : /Program-wide Subjects/Program-wide Subjects	年次/Year	/1年次/1年次 : /1st Year/1st Year
課程等/Program	/基盤教養科目/人間教養科目(2023年度以前入学者) : /Liberal Arts/Liberal Arts(Course for students enrolled before 2023 academic year)	学期/Semester	/前学期/前学期 : /First term/First term
分類/Category	//基本教養 : //Foundations in Liberal Arts	曜日時限/Day & Period	/月5 : /Mon.5

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	10111511			
科目番号 /Course Number	10160146			
単位数/Credits	2			
授業形態 /Course Type	講義 : Lecture			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	国際政治 : International Politics			
担当教員名 / Instructor(s)	/(玉井 良尚)/(阪井 士紋) : /TAMAI Yoshinao/SAKAI Shimon			
その他/Other	インターンシップ実施 科目 /Internship	国際科学技術コース提供 科目 /IGP	PBL 実施科目 /Project Based Learning	DX 活用科目 /ICT Usage in Learning
	実務経験のある教員による 科目 /Practical Teacher			
科目ナンバリング /Numbering Code				

授業の目的・概要 /Objectives and Outline of the Course	
日	<ul style="list-style-type: none"> 国際政治の過程においては、国連や OSCE などの国際機構と主権国家の関係が重要である。両者の関係は、we であるといえるだろうか。NGO や民間企業等のアクターの活躍もふまえて政策主体の理解を深める。 今日のウクライナ侵攻およびガザ侵攻では、戦争それ自体の違法性、そして文民攻撃の非人道性が強く問われている。戦争を違法とする法源とは一体どのようなものであろうか。国際（人道）法の観点から戦争を問い直すとともに、現在国際法のグレーゾーンとされる「資源の武器化」、さらに環境と食料に関する安全保障についても論ずる
英	

学習の到達目標 /Learning Objectives	
日	
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	
英	

授業計画項目 /Course Plan		
No.	項目 Topics	内容 Content
1	日 第1回	国際政治は、力と外交の政治だろうか

	英		
2	日	第 2 回	国際政治と国際公共政策（教科書第 1 部）
	英		
3	日	第 3 回	国際政治と国際公共政策（教科書第 1 部）
	英		
4	日	第 4 回	国際政治の課題Ⅰ 民主主義、人権、難民（教科書第 13 章）
	英		
5	日	第 5 回	国際政治の課題Ⅰ 民主主義、人権、難民（教科書第 13 章）
	英		
6	日	第 6 回	人間の安全保障とは何か（教科書 10 章）、開発援助（教科書 17 章）
	英		
7	日	第 7 回	人間の安全保障とは何か（教科書 10 章）、開発援助（教科書 17 章）
	英		
8	日	第 8 回	人間の安全保障とは何か（教科書 10 章）、開発援助（教科書 17 章）
	英		
9	日	第 9 回	国際政治とデジタル・トランスフォーメーション・人工知能（教科書 19 章）
	英		
10	日	第 10 回	国際政治とデジタル・トランスフォーメーション・人工知能（教科書 19 章）
	英		
11	日	第 11 回	国際法と戦争（戦争の違法化の歴史、国際人道法の展開、テロリズムと対テロ戦争）（教科書第 12 章）
	英		
12	日	第 12 回	国際法と戦争（戦争の違法化の歴史、国際人道法の展開、テロリズムと対テロ戦争）（教科書第 12 章）
	英		
13	日	第 13 回	国際法と戦争（戦争の違法化の歴史、国際人道法の展開、テロリズムと対テロ戦争）（教科書第 12 章）
	英		
14	日	第 14 回	資源と戦争（資源の武器化、環境と食料 そして難民）（教科書第 15-17 章）
	英		
15	日	第 15 回	資源と戦争（資源の武器化、環境と食料 そして難民）（教科書第 15-17 章）
	英		

履修条件 /Prerequisite(s)

日	
英	

授業時間外学習（予習・復習等） /Required study time, Preparation and review

日	日々の国際ニュースをチェックしてください。 本講義に対しては、67.5 時間の予復習に充てる自己学習時間が必要である。
英	

教科書／参考書 /Textbooks/Reference Books

日	テキスト：庄司真理子ほか編(2026)『改訂第三版 新グローバル公共政策』 参考書：授業内容に関連した文献をその都度紹介するが、以下に主な概説書を示しておく。 宮脇昇編 (2023)ウクライナ侵攻はなぜ起きたのか』早稲田大学出版部 玉井良尚(2021)『制水権』国際書院 高坂正堯 (1966/2017)『国際政治 恐怖と希望 (改版)』中央公論新社 (中公新書)
---	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	沈黙研究会編 (2026)『なぜ黙るのか』ヌース出版 ブヤンツォグトールほか編 (2026)『ハルハ河戦争』国際書院 宮脇昇 (2021)
英	

成績評価の方法及び基準 /Grading Policy	
日	講義内容の理解状況を確認するために、小テスト及び小レポートを数回課す。詳しくは、授業で説明する。
英	

留意事項等 /Point to consider	
日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各回の内容は前後することがある。初回と最終回はオンデマンドの予定 ・ 教材の学習、課題提出、自習等を含め、単位習得に必要な学修時間を確保する計画である ・ 回によっては、オンラインもしくはハイブリッド授業方式とすることがある。変更の際は別途通知する。
英	